

令和 2 年 4 月 6 日

徳島医療福祉専門学校  
校長 廣田 茂美 殿

徳島医療福祉専門学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 市川 公雄

## 学校関係者評価委員会報告

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 市川 公雄 (勝浦町教育委員会教育長)
- ② 大西 徳生 (前放送大学徳島学習センター所長)
- ③ 岡部日出明 (令和元年度保護者会役員)
- ④ 後藤田千恵 (令和元年度保護者会役員)
- ⑤ 川村 健 (三溪同窓会会長)
- ⑥ 東田 武志 (徳島県理学療法士会理事)
- ⑦ 細川 友和 (徳島県作業療法士会副会長)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和元年5月15日 (会場 徳島医療福祉専門学校 別館会議室)
- 第2回委員会 令和2年3月12日 (新型コロナウイルス感染症の感染を予防する観点から会議形式での委員会に代え、自己評価委員会から郵送された自己評価報告書完本等の内容を各委員が確認し、書面を以って評価を行う形式で実施)

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり。

以上

別紙

I 令和元年度重点目標について

- 1 重点目標①：「運営ガバナンスの強化を図り、より安定的かつ持続可能な運営に資する。」について

各種の法令改正に対する迅速な対応に、貴校の姿勢が感ぜられます。期初に掲げた取組方針（目標）を達成しているものと評価できます。

- 2 重点目標②：「少子化及び大学への進学指向の高まりの中で、安定的かつ持続可能な運営を可能にする財務体制の構築をスリム化を含めて検討するとともに、入学試験制度についても抜本的な見直しを図る。」について

専門教育に耐得る基礎学力を有するか、医療専門職としての適性を有するかを十分に見極めることができる入学者選抜となるよう、試験制度の在り方についての検討を行って下さい。

この度の出願資格の要件緩和（調査書評定の引下げ）、受験科目の変更、一般入試回数の見直しは、少子化による受験者数の減少を抑制する目論見であると理解しますが、他方で入学者の学力低下を招く遠因になるとも考えられます。

数年の経過観察を経た後、どの取組みが受験生獲得に効果的であったか、またどの取組みが学力低下の原因となったか、その因果関係を検証できるよう事前に準備を行って下さい。

- 3 重点目標③：「専門職大学の新設に伴う影響は、次年度より増大することが懸念されるため、動向を注視し、必要な対策を講じる。」について

理学療法士・作業療法士は、ライフステージに応じた多様な働き方（時短勤務、パートタイム勤務等）ができる職種であり、この点は高校生の職業選択・進路選択に際して、（特に保護者の方に対して）高い訴求力を持つと考えられます。

貴校の学費の安さ、修業年限の短さ、国家試験の合格実績、就職先での卒業生の評価や教育体制を積極的にPRして下さい。

上記のほか、県内医療施設からの求人件数、県内療法士に占める貴校卒業生の割合なども社会人経験者の受験者増を目論むならば、魅力的に映るのではないのでしょうか。

学校ウェブサイトの更なる充実に取組んで下さい。魅力的なウェブサイトを構築するためには、外部のコンサルテーションを利用することも一つの方法でないかと考えます。

- 4 重点目標④：「教育（学修）環境の更なる整備を図り、“選ばれる学校”を目指す。」について

社会で活躍している卒業生と連携した支援体制が充実していると感ぜられます。

“ここに入学してよかったと本人も保護者も思える学校。教える教員もここに勤めてよかったと思える学校。地域の人から応援してもらえ、同時に地域を元気づける学校”であってほしいと願います。

## II 各評価項目について

### 1 教育理念・目的・人材育成像について

貴校の教育理念は、学生に伝統的に引継がれている良い部分であると実感しています。  
学生の皆さんには、「あなたに担当してもらってよかった」と患者の方に思ってもらえる理学・作業療法士を目指してほしい。体とともに、心のリハビリもできる理学・作業療法士を目指してほしいと考えます。

### 2 学校運営について

学校運営について、特に指摘すべき事項はありません。  
学園・学校を取巻く諸問題について、改めて整理・検討を行って下さい。

### 3 教育活動について

授業評価の充実とこれを受けた授業の質向上が、学生の学修意欲の向上、国家試験合格率の上昇へと繋がり、上昇スパイラルを描いていくことを期待します。  
理学療法士作業療法士養成施設指定規則及び指導ガイドラインの改正で、今後2年間のうちに多くの臨床実習指導者を養成する必要に迫られていますが、徳島県理学療法士会・徳島県作業療法士会とそれぞれ共同で協議会が設置され、既にその研修会の修了者も出ているなど、職能団体等とも密な連携体制が取られているものと理解できます。

### 4 学修成果について

十分な学修成果が得られていると理解します。  
特に国家試験の高合格率は貴校の魅力であり（国家試験の合格率が学校の評価を一気に決めてしまう部分もあることから）、今後もこれを維持していくことが極めて肝要です。

### 5 学生支援について

学生個々、特に基礎学力に不安のある学生への支援をお願いします。  
学生の就職活動について、求人側の視点で申せば、学生の就職活動の開始時期、内定者の決定の時期は年々早くなってきており、他校の学生と同じ時期に就職活動を行わねば、貴校の学生が就職活動を行う頃には、条件の良い職場の採用枠は当然に減少してる訳で、学生の就職活動の時期を以前よりも前倒しする方向で調整されては如何でしょうか。また、面接試験について、専門的なトレーニングの必要も感じ始めています。  
大規模災害発生時の修学支援制度（経済支援制度）について、外郭団体（同窓会等）と連携して制度を整備することも検討されては如何でしょうか。

## 6 教育環境について

理学療法士作業療法士養成施設指定規則及び指導ガイドラインの改正を待って、校舎各施設の大規模な改修に取り掛かっており、教育環境は良くなるものと理解します。教育機器備品等の転倒防止対策も併せて進捗しており、評価できます。

法令の要求水準を上回る内容で教育機器備品が整備されており、これも今後PRしていくべき点と考えます。

## 7 学生の募集と受入れについて

高校生にとって、オープンキャンパスで卒業生や現役学生の生の声が聴けることは、大変有用なことであると考えます。更に機会を増やしていくべきと考えます。

## 8 財務について

財務について、特に指摘すべき事項はありません。

## 9 法令等の遵守について

私立学校法等の学校運営に直結する法令の改正が続いており、適時に学園諸規則、学事諸規程を改正していくこと、そしてこの概要を役員、教職員が全体で共有していくことが大事であると考えます。

## 10 社会貢献・地域貢献について

現状の社会貢献・地域貢献活動は、極めて充実しているものと思われま

す。地域包括ケアシステム構築のための地域理学療法分野への講師派遣の協力を期待します。

## III 特記事項

貴校におけるこれまでの精力的な学校運営、教育活動等の取組みによって、高い国家試験の合格率が維持され、卒業生の高い社会的評価にも繋がっていると感じます。

(高校生人口が減少していく時代とはいえ)輝かしい成果を挙げられている貴校が、今後を見据えた地域の医療関係機関における医療の重要な担い手となる人材育成機関として、更なる発展を遂げられることを期待します。

絶えずチェックを掛けながら、自信を持って学校運営に当たって下さい。